

9章 メディアリテラシーの 指導法

メディアリテラシー

- 「メディア」 + 「リテラシー」
- メディア？
- リテラシー？

リテラシー

- リテラシー (literacy)
 - 読み書き
- よく耳にするリテラシー
 - 情報リテラシー
 - コンピュータリテラシー
 - メディアリテラシー
- その他
 - ライブラリーリテラシー

メディア

- メディア (media)
 - 媒体
- 日本
 - 1980年代後半から使われるようになる(カナダの社会学者 **マクルーハン**の影響)
 - 当時 mass media は新聞を意味していた
 - **マスメディア、マスコミ、報道機関**などを指す
- 米国
 - ABC、NBC、CBS等の**テレビネットワーク**
 - 全国紙はUSA Todayのみ(mediaでない)

メディアリテラシーの概要

- アメリカ、カナダ
 - mediaを活用する能力全体
 - 「市民がメディアを社会的文脈でクリティカルに分析し、評価し、メディアにアクセスし、多様な形態で**コミュニケーションを創りだす力**」
- 日本
 - 「マスメディアからの**情報を読み解く能力**」

メディアの比較

- メディアの比較
 - パーソナルメディアが流す情報の比較・検討
 - デマ情報の存在 (hate site)
- クリティカルシンキング (critical thinking)
 - 合理的な検討を尽くす
- 市民運動や個人運動との関係
 - コミュニティの形成
 - アメリカでは個人が報道機関として認められつつある

構成されるメディア

- 客観的な報道？
 - 新聞社毎の特徴
 - 作者の意図を読み解かせる
- テレビ、ラジオ
 - 視聴率の向上（演出、やらせ、捏造、低俗な内容等）
 - 何をニュースにするか（メディアに任される）
- カナダオンタリオ州教育省の8項目の概念
 - 生徒に理解させてから学習を進める

メディアの変化

● 主な歴史

- 1450 活版印刷機の完成(グーテンベルグ)
- 1702 ザ・デイリー・クーラント創刊(英国)
- 1876 電話の実用特許取得(グラハム・ベル)
- 1895 映画の公開(リュミエール兄弟)
- 1897 無線電信会社設立(グリエルモ・マルコーニ)
- 1907 電機学校開設
- 1908 ラジオ放送実験(ド・フォレスト)
- 1924 電機学校にてラジオ実験放送を開始(NHKは1925年)
- 1925 テレビ公開実験(ジョン・ベアード)
- 1928 丹羽保次郎博士(後の東京電機大学初代学長)がファクシミリの開発に成功、実演教室で日本初のテレビ公開実験
- 1946 ENIACの誕生
- 1949 東京電機大学開設
- 1969 ARPANETの誕生

メディアリテラシーの教育

- 国語科
 - 文章を分析させる
 - 作者の意図を読み解かせる
- メディアリテラシー
 - 国語科と相似形である
 - 作者の意図は何か
 - 視聴者を引き付ける工夫
 - 音楽、カット割りの効果
 - 分析的に視聴

メディアリテラシー教育の準備

- 著作権法
 - 他人の著作物をどのように利用するか
- 個人情報保護法

出版メディア

- 総合情報誌の活用
 - 気に入った理由
 - 誰を対象としているか
 - 工夫
 - 目線の動き
 - 不足する情報
- 新聞の活用
 - トップニュース
 - 論調、写真、社説等の比較

映像メディア

- テレビCM
 - 視聴者を引き付ける工夫
 - 時間帯
- 日本の場合
 - 商品名や商品のセールスポイントの強調
 - 会社のイメージのアピール
- 何の会社か不明なCM
 - 興味があれば視聴者がWebページで調べる